

ほっ かい どう ぞく へび
北海道 唯一の 毒蛇



ニホンマムシ

ほっ かい どう しゅ るい せい ぞく
北海道には5種類のヘビが生息していますが、その
なか ぞく へび ぜん
中で毒蛇はニホンマムシだけです。ニホンマムシは全
ちよう てい ど ふど せいか し ぜん ゆた ぼしよ
長50cm程度の太く短いヘビで、自然豊かな場所
で暮らしています。夜行性ということもあり、出くわす機
会 かい すく にっしやう
会は少ないですが、ただそんなニホンマムシも日中に
かつ どう し き なつ お あり
活動する時期があります。それは夏の終わりから秋の
はじめ、この時期に出でくる個体は全て妊娠している
メスです。お腹の赤ちゃんを温めるために日光浴をし
ており、赤ちゃんを守るため大変攻撃的になっている
ので、見つけても絶対に近づかないようにしましょう。
どく せい つよ こく ない ねん かん じん
毒性はハブよりも強く、国内では年間で10人ほど
を 亡く なくなっ ています。

よる どう ぶつ えん
夜の動物園 プレミアムツアー

しやく いん まん ねい せい
職員と園内を巡り、
夜の動物の生態を観察
することができます。

第1回 8月17日(土) ※親子ツアー

第2回 8月18日(日) ※親子ツアー

第3回 9月1日(日) ※大人ツアー

第4回 9月7日(土) ※大人ツアー

■対象

【親子ツアー】

・18時00分から20時00分まで
・小学生以上中学生以下の子どもと、その保
護者のグループとし、1回の申し込み単位は
最大5名までとします。

【大人ツアー】

・18時00分から20時20分まで
・高校生以上のグループまたは個人とし、1回
の申し込み単位は最大5名までとします。

■定員

・各回90名まで

■会場

・正門から入場し、科学館ホール
に集合

■抽選結果

・郵送にてお知らせします。

【発送予定日】※当選者のみ発送
令和元年8月9日(金)

申し込み方法

7/18(木)から7/31(水)までに以下内容で申し込みを市コールセンター
222-4894へ(応募者多数時は抽選)

(1)参加希望日(①8/17、②8/18、③9/1、④9/7) (2)代表者氏名、ふりがな (3)代表者住所、日中連絡
のつく電話番号 (4)同伴者氏名、ふりがな (5)年齢(参加者全員) (6)学校名、学年(※小中学生のみ)

WEB受付のページ <http://www.city.sapporo.jp/callcenter/uketsuke/index.html>



WEBページ
QRコード

開園時間
3月1日～10月31日…午前9時30分～午後4時30分
11月1日～2月末日…午前9時30分～午後4時

休園日
毎月…第2、第4水曜日(祝日の場合は翌日)
4月・11月…第2水曜日を含むその週の月～金曜日
12月…29～31日

料金
大人年間パスポート/1,000円 団体(30名以上)/540円
大人(高校生以上)/600円 小人(中学生以下)/無料
駐車料金 普通車 /1回700円

飼育動物数

(2019年4月末現在)

哺乳類	58種	294点
鳥類	42種	165点
爬虫類	52種	232点
両生類	15種	254点
魚類	1種	8点
総計	168種	953点

札幌市円山動物園公式HP
<http://www.city.sapporo.jp/zoo/>
札幌市円山動物園 TEL011-621-1426

動物取扱業に関する表示

■ 氏名: 札幌市円山動物園 園長 笠原 修
■ 事業所の名称: 札幌市円山動物園
■ 事業所の所在地: 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
■ 動物取扱業の種類(登録番号): 展示(札幌動物登録第437号)、販売(札幌動物登録第1081号)、保管(札幌動物登録第1082号)、貸出(札幌動物登録第1083号)、訓練(札幌動物登録第1084号)
■ 登録年月日: 平成19年5月21日(展示)、平成24年5月21日(販売、貸出、訓練)
■ 有効期限の末日: 平成34年5月20日(展示、販売、貸出、訓練)
■ 動物取扱責任者: 山本秀明



SAPP-RO



さっぽろ市
02-303-19-1008
31-2-767

Sapporo Maruyama Zoo
さっぽろ 円山動物園
だより
2019 vol.166 夏号
編集・発行: 札幌市円山動物園
令和元年(2019年)7月19日発行
〒064-0959
札幌市中央区宮ヶ丘3番地1
TEL/011-621-1426 FAX/011-621-1428
<http://www.city.sapporo.jp/zoo/>

北海道の自然と
アオダイショウ



ほっかいどう うつく かがや
北海道で美しく輝くヘビ

アオダイショウ

アオダイショウは、北海道を含むほぼ日本全国に広く分布しています。

北海道内ではもっとも大きいヘビで、全長は最大で150cmを超えます。

性格はおとなしく、毒もありません。噛みついてくるようなことはほとんどないですが、野生で見つけてもむやみに触らないようにしましょう。

また、北海道にはたった5種類のヘビしか生息していませんが、アオダイショウは様々な模様、色彩を持っており、非常に美しい個体もいます。ここではこれまでに会ったアオダイショウたちを紹介합니다。



「緑」タイプは野生でも見かけることができますが、ここまで美しい個体はほとんどいません。円山動物園ではこのように緑の美しい個体を「エゾグリーン」と名付け世界にその魅力を発信しています。

非常に珍しい黒いタイプ。黒っぽい個体はたくさんいますが、ここまで真っ黒の個体は、ベテラン動物専門員でも1頭しか見たことがありません。



アオダイショウの中でも最も美しいのが、この「青い」タイプです。アオダイショウという名前がついていますが、実際「青い」アオダイショウはほとんどいません。円山動物園ではこのように青く美しい個体を「エゾブルー」と名付け世界にその魅力を発信しています。

いわゆる「シロヘビ」です。突然変異によって生まれつき体の色素が欠乏しています。体は白っぽく、目は赤いです。まれに野生で発見されることもあります。ペット用にも繁殖されていて、飼育している人も多いです。



旭川で発見された非常に珍しいタイプ。突然変異により、生まれつき何かしらの色素が欠乏していると思われますがよくわかりません。体は白っぽい水色で、目は少しだけ赤く、うっとりするほど美しいです。



ヘビは定期的に脱皮をしながら成長していきます。また脱皮を繰り返すことで怪我も治してまいります。脱皮は鼻先から剥けはじめ、靴下を裏返しに脱くように剥けていくのです。ちなみに写真のように目が白くなっているヘビは脱皮する寸前です。



野生のアオダイショウは様々な哺乳類や鳥類、両生類などを食べています。円山動物園ではハツカネズミを週に1回程度与えています。ヘビにとってネズミは完全栄養食です。

